

受付番号	令和 7 年 / 10 月 7 日
/	午後 5 時 / 5 分 受領

令和 7 年 10 月 7 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子

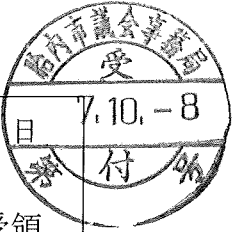


一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
生活保護受給者の実態について	最高裁判決は 6 月 27 日、2013～15 年に生活保護基準を引き下げたのは、専門家の審議を経たおらず違法と判断した。これを機に、生活保護受給者の実態について伺う。 1 令和 6 年度生活保護扶助に関する収支決算について。 2 生活保護受給者の世帯数・年代別人数は。また、高齢者世帯、障がい者・傷病者世帯、母子世帯数の内訳と、市の総人口に対する受給者の割合は。近年増加傾向にあるのか。 3 生活保護申請の実態について。車所有の条件と申請後の手順について。胎内市の生活扶助基準額はどのように決められているのか。生活できる金額と考えられるか。 4 生活保護受給者の生活保障の対策は。	市長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
魅力的な公園を新設できないか	5月25日の市民と議会の意見交換会で、子育て中の家族から、「子供が喜んで遊べる公園がないので、新発田市五十公野公園や関川村道の駅へ連れて行っている。樽ヶ橋遊園は有料のため行かない。市内でも気軽に行ける魅力的な公園を早く作ってほしい」との要望があったので、以下の3点について伺う。 1 市で管理している公園数とその遊具数について。 2 市内に魅力的な公園をつくれな 3 樽ヶ橋遊園の入園料を無料にできな	市長
一人暮らし老人の実態について	一人暮らし老人から緊急通報システムについて聞かれた。老後を不安に思う人もあり、一人暮らし老人の実態について伺う。 1 70歳代・80歳代・90歳以上の一人暮らし老人数は。 2 上記年代別に介護保険認定者数と、年代別対象者に対する介護保険認定者の割合は。 3 緊急通報システムの補助制度の概要と現在の利用者数及び、一般利用者が支払う料金について。 4 一人暮らし老人の支援策は。	市長



受付番号	令和 7 年 10 月 8 日
2	午前 8 時 44 分 受領

令和 7 年 10 月 8 日

胎内市議会議長 八 幡 元 弘 様

胎内市議会議員 渡 辺 栄 六

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問相手
スマホ保険証の普及と利用促進について	本年 9 月 19 日より、マイナンバーカードと健康保険証を一体化した、いわゆる「スマホ保険証」の運用が開始された。この制度は、マイナンバーカードの IC チップ情報を活用し、スマートフォンに保険証情報を連携させることで、より便利で効率的な医療サービスの提供を目的としたものであり、窓口での本人確認や資格確認をスムーズに行える点など、多くの利点があるとされている。 一方で制度開始直後である現在においては、市民の間で「スマホ保険証」の認知度や利用率がまだ十分とは言えない状況であり、特に高齢者やスマートフォンの操作に不慣れな方々、あるいはマイナンバーカードをまだ取得していない方々への配慮と支援が求められる。 こうした背景を踏まえ、以下の点について市の見解と今後の対応を伺う。 1 スマホ保険証に関する市民への周知・広報について 制度の内容や利便性について、市民にどのような手段で広報・啓発を行っているのか、また今後どのように周知を進めていくのか。 2 高齢者やデジタル弱者への支援体制について スマートフォンの設定やマイナポータルアプリの操作に不慣れな方への支援が重要と考えるが、現在、市としてどのような支援策を講じているのか。	市 長

小中学校における熱中症対策について	3 医療機関等における対応状況と連携について 市内の医療機関や薬局において、スマホ保険証対応の準備状況や課題について市として把握している内容はあ るか。また、医療機関等との連携強化に向けた市の取 組みを伺う。 近年、地球温暖化の影響により、夏季の気温上昇が顕 著となっており、子どもたちの健康と安全を守るための 対策が急務となっている。特に小中学校においては、授 業や部活動、学校行事などで長時間屋内外に滞在するこ とが多く、熱中症のリスクが高まっている。 本市では、教室へのエアコン設置が進められているが 依然として体育館へのエアコン整備は未着手の状況であ る。体育館は夏季においても頻繁に使用される施設であ り、熱中症の危険性が極めて高い場所であることから、 本市においても早急な整備が求められている。 また、熱中症予防にはこまめな水分補給が不可欠であ り、学校内における給水環境の整備も重要である。現在 多くの学校では水筒の持参が基本となっているが、気温 が高い日にはそれだけでは不十分であり、学校内に給水 機を設置することで、児童生徒がいつでも安全に水分補 給できる環境を整える必要がある。 以上を踏まえ、以下の点について見解を伺う。 1 本市の小中学校体育館へのエアコン整備の現状と課 題についてどのように認識しているか。 2 今後、国の補助制度なども活用しながら、計画的か つ早期に体育館へのエアコン整備を進めていくべきと 考えるが、今後の具体的な整備計画と見通しについ て。 3 本市の小中学校における給水環境の現状について、 どのように評価しているのか、また課題があるとすれ ばどのような点か。 4 熱中症対策の一環として、学校への給水機の設置を 進めていく考えはあるか。今後の方向性については。	教 育 長
--------------------------	---	--------------

投票環境の更なる充実に向けた取組みについて	本市は中山間地も抱え、地域によっては公共交通の便も悪く、高齢化率も年々高まっている状況である。特に選挙においては高齢者の移動の負担が大きく、投票所まで足を運ぶことが困難な有権者も少なくない。 こうした課題に対する対応策として、近年、全国各地で導入が進められているのが「移動期日前投票所」である。これは、車両などに投票所の機能を備え、公共施設や高齢者施設、地域集会所などを巡回することで、より多くの市民に投票機会を提供する取り組みである。 1 本市の近年の投票率の推移について、どのように分析しているか。 2 本市において、移動手段が困難な地域などを中心に移動期日前投票所を導入する考えがあるか。また、実施に向けた課題認識と今後の検討状況について伺う。 3 高齢者や障がいのある方、また外国にルーツを持つ市民など、多様な背景を持つ方々が円滑に投票を行えるよう、「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」の導入についても検討すべきと考えるが、本市の対応状況と今後の導入方針について伺う。	市長
------------------------------	---	-----------

受付番号	令和 7 年 10 月 8 日
3	午後 1 時 33 分 受領

令和 7 年 10 月 8 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 丸 山 孝 博



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
生涯学習施設について	4 月から 6 月に実施したパブリックコメントの結果についてどう受け止めているのか。その中で、建設候補地についての受け止めは。 - 市長選で大きな争点になった建設場所について「嘉平山以外で」とした薄田氏を支持した人は半数近いが、どう受け止めているのか。 - 市長選で新潟日報が実施した出口調査によると建設に適した場所について嘉平山と回答した人は、9.6%であったがこれをどう受け止めているのか。	市長
学校給食の無償化について	全国的に広がっている自治体独自の小中学校給食無償化の現状についてどう捉えているのか。	市長

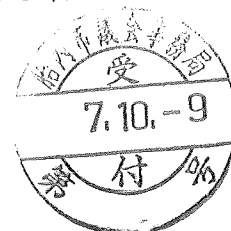
国民健康保険について	1 基金の一部を取り崩し、加入者の負担軽減を行うべきではないか。 2 18 歳以下の子どもの均等割を全額免除した場合、人数は何人、財源はいくらかかるのか。胎内市でも国の減免に上乗せして子育て支援として、18 歳以下の子どもの均等割を全額免除すべきではないか。 3 人間ドックの個人負担料金の軽減と、対象年齢を引き下げて受診しやすくすべきではないか。	市長
-------------------	--	-----------

受付番号	令和 7 年 10 月 9 日
4	午前 9 時 14 分 受領

令和 7 年 10 月 9 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 坂上 隆夫



一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
井畑市政 3 期目の市政運営について	8 年前と同じ 3 つの基本理念、市民協働、選択と集中、未来への投資を掲げ、市民の審判を受け 3 期目がスタートしました。市民の安心安全な地域づくりを期待しています。 胎内市では、人口減少対策、子育て支援、高齢者福祉と生活支援、財政運営と地域経済の活性化など様々な課題があるなかで、今後の市政運営について伺う。 1 基本理念である市民協働、選択と集中、未来への投資について 3 期目の考えを伺う。 2 少子化に伴い、中学校の統合の計画があるが、小学校の再編についての考えを伺う。 3 人口減少が進み高齢化率が高い地域も出てきているなかで、過疎対策及び、過疎地域の防災対策についての考えを伺う。 4 洋上風力発電事業の陸上工事が半年遅れで始まったが、様々な課題が聞かれるが、予定通りに事業が進むのか伺う。 5 胎内 DEERS はスポーツを通じて地域の活性化につながると期待しているが、今後の胎内 DEERS との連携について伺う。	市 長
都市公園について	市には、数か所の都市公園があり、市民の憩いの場として利用されています。ホームページでも予約が可能です。予約状況、また、管理状況について伺う。 1 各公園の予約状況、また、利用人数などは把握しているのか伺う。	市 長

(2 枚中 1 枚目)

	2 公園によって草が伸びていたり、適正な管理がおこなわれていないと言う指摘もあるが把握しているのか伺う。 3 現状を踏まえ、今後の都市公園の在り方について、考えを伺う。	
--	--	--

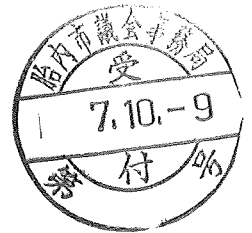
受付番号	令和7年10月9日
5	午前11時53分受領

令和7年10月9日

胎内市議会議員 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 増子 達也

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
小中学校の給食費について	1 令和7年度の一人当たりの給食費は。 2 過去5年間の給食費の推移は。 (一人当たりの月額、及び総額) 3 過去5年間の食材費の推移は。 (一人当たりの月額、及び総額) 4 過去5年間の市補助金の推移は。 (一人当たりの月額、及び総額) 5 今後、給食費増額の予定はあるのか。 6 小中学校の給食費無償化について、どのように考えているのか。	市長 教育長
有害鳥獣駆除及び緊急銃猟について	1 緊急銃猟を実施するまでの手順は。 2 緊急銃猟の際、安全確保はどのように行われるのか。 3 緊急銃猟において跳弾（ちょうだん）や流れ弾による物損または、人に被害が出た場合の損害賠償責任は誰にあるのか。 4 緊急銃猟のハンターの対価は。 5 緊急銃猟にならない熊の駆除要請はどのように行われるのか。 6 5を要請した場合、ハンターの対価は。	市長

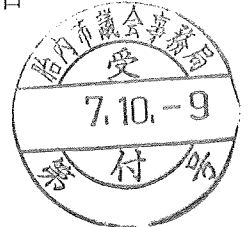
(2枚中1枚目)

質問項目	質問の要旨	質問の相手
令和7年8月及び9月の大雨被害について	1 農地、農業用施設の被害状況は。 2 河川、橋梁、道路の被害状況は。 3 家屋等の被害はあったのか。 4 市が管轄する公共施設の被害はあったのか。	市 長

受付番号	令和7年10月9日
6	午後2時59分 受領

令和 7 年 10 月 9 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様



胎内市議会議員 渡 辺 宏 行

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

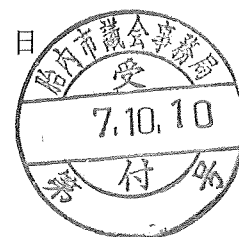
質 問 事 項		質問の相手
市長の政治姿勢について	1 市長選挙の結果について、得票数 108 票という僅差の勝利に対する自己評価は。また、この選挙の結果から半数近い市民が相手候補を支持したことになるが、今後の市政運営についての考えは。 2 今回の市長選で、生涯学習施設の建設候補地「嘉平山」が選挙戦の争点の一つとして、市民からも注目された。 現在、基本計画(案)の見直しを行い、パブリックコメントを実施している。また、今後審議会を設置して、候補地の選定にあたるとしているが、公平・公正を期す意味からも、候補地ごとの特徴を整理した表(市報8月合併号)を参考にアンケート調査を実施すべきと思うが考えは。 3 風通しの良い市政運営について、議会と執行部は一定の距離を置きながら、お互いの信頼関係の中で、情報を共有し、	市 長

質 問 事 項		質問の相手
小中学校体育館のエアコン整備について	市政運営に当たることは最も重要であると思うが、ここ数年議会と執行部の関係において、情報の共有という面が希薄になってきているように思われる。市長の見解は。 国では猛暑による熱中症対策として、2018年度の補正予算でエアコン設置のための交付金が創設されたことにより、2025年5月1日現在の全国の小中学校の普通教室におけるエアコンの設置率は99.1%とほぼ設置されており、胎内市においてもすべての教室に設置されている。 しかしながら、体育館のエアコン設置率は、全国でも22.7%と依然として低い状況にある。この背景には、体育館の広さから設備の設置費用、ランニングコスト、また国の補助要件として施設の断熱性など、多額の財政負担が伴うといわれている。しかし、体育館のエアコン設置は、児童生徒の熱中症予防に加え、災害時の地域住民の避難所としての役割も担っている。 胎内市も国の補助制度を活用し、小中学校体育館のエアコン設置を検討すべきと思うが考えは。	教 育 長

受付番号	令和 7 年 10 月 10 日
7	午前 8 時 30 分 受領

令和 7 年 10 月 10 日

胎内市議会議員 八幡 元弘 様



胎内市議会議員 森本 将司

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
財政について	① かつての財政健全化計画から現在の財政計画に変更され 3 年が経過したが、健全化はなされたと捉えているのか伺う。 ② 財政調整基金の積み増し等により将来負担比率も大きく改善したが、財政調整基金の適正額をいくらぐらいと考えているか。また、将来負担比率はどの程度を目標にするのか。 ③ 高い数値を維持していた経常収支比率を理由の一つとして事業見直しを行ったが、直近 3 年は行われておらず、今定例会では訪問理美容の助成事業の復活があった。経常収支比率に改善が見られるが、他にも廃止事業の見直しの可能性はあるのか。 ④ 今後、生涯学習施設や統合中学校等、大きな事業が予定されているが、財源をどのように考えているか。	市長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
ふるさと納税について	① 令和6年度は全国的な米不足の影響もあってか、26億円あまりの納税があった。好調であるのは良いが、課題や問題点はないのか。 ② 10月よりポータルサイトでのふるさと納税へのポイント付与が禁止となったが、今回の制度改正による当市への影響は。 ③ ふるさと応援納税の現在の状況は。	市長
鳥獣害対策について	① 新潟県では10月現在、クマの出没・目撃件数が過去最多となっているが、当市での目撃件数と捕獲頭数は何頭か。 ② 本年9月より人の生活圏での熊や猪への銃による駆除が可能になったが、発砲許可権限を持つ首長が、現場で指揮を執ることは考えづらく担当職員への権限移譲が推奨されている。当市ではどのような対応を考えているか伺う。 ③ 熊との生活圏の緩衝地として刈り払いが有効とされているが、当市の刈り払い事業の実績をどう考えるか。また、自治体によっては森林環境譲与税を活用しているが、これを充てる考えは。 ④ 本年に入り、中条地区の山側集落への猿の出没が増えている。電気柵等での対策までいかない家庭菜園の被害が多く、GPS等の設置では根本的な解決には至っていないが、追い払い等対策についての考えを伺う。	市長

受付番号	令和 7 年 10 月 10 日
8	午前 11 時 47 分 受領

令和 7 年 10 月 10 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様



胎内市議会議員 佐藤 武志

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
小・中学校関連について	1 近年の地球温暖化が進む中で、酷暑日など登下校する児童・生徒たちが安心安全に通学出来る環境を考え、小・中学校の徒歩や自転車などで通学する児童・生徒たちに「電動ファン付きベスト」を貸与してはどうか。 2 就学する児童・生徒が減り続けていく傾向が見られる中、今後、小学校 5 校・中学校 4 校を統合する再編計画が見込まれているが、中学校は 10 年後をめどに 4 校を 1 校に統合し、開設する準備を進めていることが市長の所信表明で述べられた。統合するにしても、地形的に横に細長い形の胎内市は、児童・生徒や地区にもメリット・デメリットがあると思う。 「メリット」としては、多くの集団の中で多様な考えにも触れ、切磋琢磨し、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていけることや、放課後の多彩な部活動、集団の中での	教 育 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	関りを持つことでコミュニケーション能力が身につくなどあると思う。 また、「デメリット」としては、学校は教育の場だけではなく、地域のコミュニティーの核として、地域の交流の場・避難所などの役割があり、統合することでその役割が果たせなくなる。また、学校までの距離が遠くなり、児童・生徒への負担、部活動や行事等の影響も考えられる。 これまでも市が行なってきた数校の学校統合の経緯も含め、これからの小・中学校の子どもたちや、地域のための学校統合についての考えを伺う。	
生涯学習施設について	生涯学習施設整備事業について、建設に反対ではないが、今後より多くの市民が利用できる施設とするために、市長はどのように考えているか。	市 長
洋上風力発電事業について	胎内市・村上市沖の海上に着工される洋上風力発電事業は、洋上風力 38 基、68.4 万 Kw の発電、運転開始予定時期は 2029 年 6 月 30 日、洋上工事の際に拠点となる港基地は新潟東港を利用、利用時期は 2027 年 4 月から 2030 年まで利用され、運転開始後、保守作業等となる港は岩船港となり、岩船港利用時期は、2028 年 10 月からと事業計画概要が示されていた。 事業者からは、様々な地域共生策が示されているが、市が洋上風力発電によって、新たな産業と新たな地域雇用の創出が期待されている。 事業が完成することで「シビックプライ	市 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
開志国際高等学校の 運行委託について	「シビックプライド」につなげていくとしているが、 「シビックプライド」とは、「都市に対する 市民の誇り」「特定の地域に誇りを持ち、そ の地域を良くするために貢献しようとする 自尊心」と意味がなされている。 洋上風力発電事業を通して、市民にどの ような恩恵がもたらされ、「シビックプライ ドの醸成」につなげていくのか考えを伺う。 また、洋上風力発電から得られる税収を もって生涯学習施設の建設費に充てると市 長から説明があったが、すべてを賄うのか 伺う。 私学・開志国際高等学校に買い物用の支 援策として、市がバスを運行するための委 託費が計上された。 学校側には、送迎用のバス車輛を所有し、 運行する中で、ふるさと納税の寄付金を充 てているとしている。 寄付金は本来、市や市民のために活かさ れるものではないのか伺う。	市 長